

文京区の風しん発生状況について

1 風しん患者発生状況

首都圏を中心とした風しんの流行において、区民の風しん患者報告数は平成30年10月末現在、累計で6件である。患者は、全て成人（男性3人、女性3人）であり、年齢は、20代から50代である。

都内における風しん患者の届出は、平成30年7月下旬から増加し、平成30年第1週（1月1日～7日）から第42週（10月15日～21日）までの累計で510件である。

なお、昨年1年間の都内における風しん患者報告数は、22件であった。

2 対応状況

風しんは、妊娠初期に感染すると、生れてくる赤ちゃんが白内障、難聴や先天性心疾患を特徴とする先天性風しん症候群を発症する可能性が高くなることから、妊娠を希望している女性やその同居者で、風しんの罹患歴がなく、風しんの予防接種を受けていない方などに対して、抗体検査や予防接種の費用助成を実施している。また、区民への注意喚起及び患者発生時の調査等を実施している。

(1) 費用助成制度

- ・20歳未満のMR接種未接種者への費用助成制度（平成22年度から実施）
- ・風しん抗体検査及びワクチン接種の費用助成制度
（平成27年度から実施、平成25・26年度は接種費用の償還払いを実施）

(2) 区民への注意喚起等

- ・区ホームページ
- ・区設掲示板ポスター掲示
- ・Bーぐる車内ポスター掲示
- ・文京シビックセンター地下2階区民ひろばにてマルチビジョン放映
- ・子育て応援ワクチンナビでのお知らせ
- ・学校等欠席者情報システムにて保育園へ注意喚起
- ・区立小学校就学時健康診断時にMR2期接種勧奨チラシの配付依頼

(3) 患者発生時の調査等（積極的疫学調査）

- ・患者に対する行政検査の実施
- ・患者及び接触者に対する保健指導や健康観察等
- ・区内事業者等における患者発生時の保健指導や健康観察等